



斐太北小学校

所在地 妙高市大字飛田 690 番地
電話 72-2629 FAX 72-8776

ホームページ <http://www.azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/>



1 学校の概要

- (1) 創立 明治8年8月1日
- (2) 教職員 校長 渡辺 修司 教頭 浅山 景
教諭8名 講師1名 養護教諭1名
主事1名 教育補助員1名
特別支援教育支援員1名
用務員1名

(3) 学級編成

学 年	学級	男	女	合 計
第1学年	1	9	4	13
第2学年	1	9	7	16
第3学年	1	5	4	9
第4学年	1	6	4	10
第5学年	1	5	7	12
第6学年	1	7	2	9
特別支援	2	4	0	4
合 計	8	45	28	73

2 学校経営の基本構想

- (1) VUCA の時代をたくましく生き抜く児童の育成
ESD を基軸とした教育活動を進める。ユネスコ
スクール登録に向け、地域や加盟校との連携を図
り、創意工夫ある活動を展開していく。
- (2) 学力のさらなる向上
昨年度の NRT では、当校は全国平均をやや上回
った。一方で分析の結果、基礎・基本の定着や学
んだことを活用して課題を解決する力をさらに
高めていく必要がある。

3 教育目標

「進んで学ぶ子 心の豊かな子 たくましい子」

4 年度の重点目標及び努力事項

- (1) 重点目標
- ・ SDGs の目標達成のために ESD を推進しながら、子どもたちが「6つの視点」、「7つの力」を身に付け、持続可能な担い手の育成に取り組む。
 - ・ ユネスコスクール加盟に向けたカリキュラム及び教育活動に取り組む。
- (2) 努力事項
- ・ みらい学習と各教科、道徳、特別活動との関連を図った「斐太北カリキュラム」の見直しを図り、確かな学力を育成する。
 - ・ 人権教育、同和教育、防災教育、異年齢集団活動の充実を図り、豊かな心を育成する。
 - ・ 体力向上に向けた体育の授業改善、ネット社会との正しい関わり方の指導及び生活習慣の指導に取り組む、心身の健康を育成する。

5 研究計画

- (1) 研究主題
「創り出す子」を育む 斐太北カリキュラム・マネ
ジメント
～「考えを創り出す子」の育成をめざして～
- (2) 主題設定の理由
これまで当校では、みらい学習を中核とする「斐
太北カリキュラム」の生成により、各教科・道徳・
特別活動などの有機的な関連を生み出し、当校の子
どもがもつ「課題に対して真面目に取り組む姿」や
「体験活動に生き生きと取り組む姿」を具現した。
こうした姿に加え、目まぐるしく変化する社会情
勢において、「未来を切り拓くために、目の前の課
題にしっかりと目を向け、様々な見方や考え方を取
り入れながら、柔軟かつ論理的に考えることのでき
る」資質・能力の育成が必要であると考え。本研
究では、そうした子どもたちの目指すべき未来像を
思い描きながら、「考えを創り出す子」の具現に焦
点を当てていく。
- (3) 研究内容目標
- ・ 考える力の育成を目指し、ESD の視点を基にしたみらい学習と各教科の双方が、有機的に関連するカリキュラム開発を行う。
 - ・ 「読解力」「批判的思考」「有意味学習」を核とした授業づくりを各教科で実践する。
 - ・ ICT を活用し、個別最適な学びと協働的な学びが一体化した授業づくりを行う。

6 ESD 推進計画

- (1) 重点目標
- ・ 校務分掌に ESD 部会を位置付け、定期的に部会を開催し、活動の進捗状況等を確認する。
 - ・ ESD だよりを発行し、保護者、地域に子どもたちの活動の様子、成果、課題を発信する。
 - ・ みらい学習（生活科・総合的な学習の時間）をと
おして、SDGs の目標達成に取り組む。そのため
のカリキュラム・マネジメントを行う。

7 主な行事の予定

- 4月：始業式 入学式 学習参観 PTA 総会
5月：避難訓練 体力テスト フレンドミッション
6月：避難訓練
7月：学習参観 地域児童会 6年修学旅行 終業式
8月：始業式
9月：学習参観 引き渡し訓練 市親善陸上大会
10月：体育大会 マラソン大会 就学時検診
11月：市音楽発表会 個別懇談
12月：フレンドフェスティバル 地域児童会 終業式
1月：始業式 書き初め大会 避難訓練
2月：移行学級 スキー教室 学習参観 PTA 総会
3月：6年生を送る会 終業式 卒業式